

謹テ書ク

大隈ニ位公閣下ニ上ル尚経曩

キニ曩島地方ヲ周遊スルニ當リ都鄙ノ各新

聞紙ニ閣下及松方伯入閣アルベシトノ記事ア

ルヲ見ルヤ地方有志者ハ尚経ニ問フニ其真偽ヲ

以テセシカバ尚経之ニ答フルニ松方伯ハ知ラズ

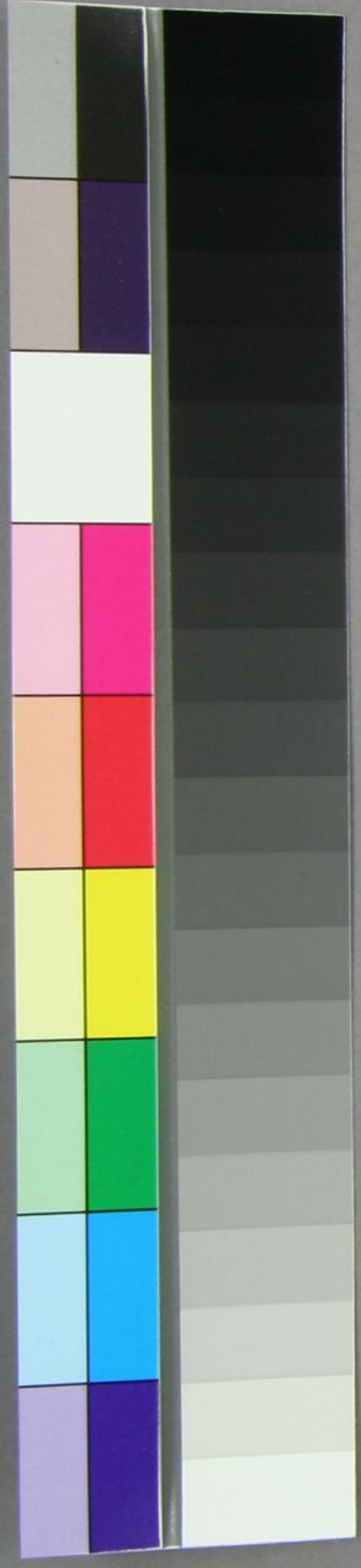
大隈伯ニ至テハ決シテ入閣セラレザルベシ然レモ若シ

伯ニシテ入閣セラルノ日ハ必ズ政党内閣ノ基礎

茲ニ立キ平生ノ持論行ハルノ時ト見テ可ナリト

断言セリ而シテ其後前内閣ニ大変動ヲ来シ

シ有名ナル伊皿子會議ノ結果終ニ



閣下ノ入閣ヲ見ルニ至レリ此ニ於テ乎尚経等竊
ニ欣舞國家ノ将来ト 閣下ノ前途トヲ祝セリ
然ルニ其後各省大臣ノ選擇ハ民間志士ノ意
ヲ滿タスニ足ラザルハ新内閣ニ懐念タラザルニ及
ベリ只未タ大政ノ方針發表ニ至ラザルヲ以テ暫ク
沈黙セルノニ若シ夫レ大政ノ方針ニシテ志士ノ意ヲ
滿タスニ足ラバ天下ノ民心翕然トシテ新内閣
ニ帰郷向シ彼令第十議會ニ於テ反對派ノ為
メニ敗リ取ルモ最後ノ勝利ハ期シテ待ツベキノミ
加之兵ク青史ニ光ラザルニ至ラン之ニ及レテ大政

新内閣

ノ方針若シ志士ノ意ヲ滿タスニ足ラズンバ一旦
新内閣ヲ歡迎セシ所ノ進歩党ト雖モ山魏然
及對ノ位地ニ立ケ自由党ノ前内閣ニ於ケルガ
如キ愚ク學子ハガレト必然タラン事若シ此ニ至ラバ
新内閣ハ何ニ依テ立脚ノ地ヲ固ムルヲ得ベキヤ
何ニ依テ上下ニ對スルヲ得ベキヤ何ニ依テ名
譽ヲ全クダラシ得ベキヤ嗚呼大政方針發表
ノ日ハ即チ新内閣死活定ムルノ時ニシテ又新
内閣ノ毀譽ニ岐カルノ時ナリ尚経等之ヲ念ヒバ
杞憂胸ニ滿ケテ殆ンド六段食クモ安ンザルハ

ガレナリ 閣下ノ明能ク時勢ヲ洞悉シ他ノ
閣臣ヲ指導シテ天下ノ民心ヲ収攬スル足ル
ベキ大方針ヲ定メ玉ハシイ信じて疑ハサル所ナレ
此万一不韋ニシテ製議ノ過ル所ト為リ
閣下ノ意見行ハレザルニ當リテハ潔然勇退
時機ノ来ルヲ待テ玉ハシイヲ希望ノ至ニ堪ヘザ
ナリ但今ニシテ退引シ玉フニ托ス及對派ハ
閣下ハ閣ノ輕忽ナルヲ譏議スルイアルベシト雖モ
廷歩党及其他ノ非ハ藩閥派ハ 閣下ニ離及
スルニ至ラズ之ニ及レ苟モ苗任シ玉フニ托テハ独リ

新編通志

及對派が伴食大臣トシテ身下スルノニナラズ
廷歩党其他モ亦 閣下ニ離及スルニ至ラン
果シテ然ラバ外ハ内閣ヲ匡救スル能ハズ内ハ
一身ヲ善クスル能ハズ 閣下十年ノ苦節一朝
ニシテ空エシク泡沫ニ帰レ了ラン身 閣下ノ智
固ヨリ此ニ慮ル所アルベシト雖モ玉ハシイヲ把持ノ餘
敢テ波女心ヲ吐ク踏シ謹テ之ヲ 閣下ニ致ス斯レ
蓋シ 閣下ノ鴻恩ニ報ルノ一端ナリ
閣下頼リハ微衷ヲ盡スルモ 誠恐頓首
明治九年十月四日

新編